

長嶺地域コミュニティ協議会だより

健康講座特集 地域高齢者アンケート調査・歯と健康の体験学習会

発行 長嶺地域コミュニティ協議会広報部 発行責任者 丹羽 仁(☎243-0318)

第一部 長嶺地域高齢者アンケート調査、分析結果について

東地域保健福祉センター長 松村京子氏



平成12年度(331人)、平成20年度(201人)と長嶺地域の高齢者(75歳以上)の生活アンケートを実施しました。その結果をセンター長に分析していただき、又あわせて東地域保健福祉センターの役割について話していただきました。

12・13年度調査、20年度調査の結果から分かったことは

「健康と思う」「生きがいがある」人は…

- ◎ 朝の目覚めが良い
- ◎ 食事を3食規則正しく、おいしく食べる
- ◎ 大豆製品や乳製品を良く食べる
- ◎ 快便である
- ◎ 週に何回か外出している
- ◎ おしゃべりや愚痴を言い合えるひとがいる
- ◎ 日常生活が自分でできる(買い物、食事の用意、掃除洗濯、金銭管理など)
- ◎ 趣味や楽しみがある



20年度の調査で分かったことは…

- ◎ 「健康と思う」人は
- ◎ 趣味や生きがいを持っている
- ◎ 外出の頻度が高い
- ◎ 外出時は街の人から声かけされる



つまり…「健康と思う」人は閉じこもりになっていない
ということです



いざ!というときの対応はできていますか?

◎ 「倒れたとき見つけてくれる人がいる?」の質問には

「いる」と答えた人は 69.2%

「いない」と答えた人は 27.8% でした

※ 「いる」と答えた人のうち「誰が見つけてくれる?」の質問には「同居の家族」と答えた人が圧倒的に多くいらっしゃいました

◎ 「災害時誰かの支援を受けられる?」の質問には

「受けられる」と答えた人は 79.1%

「受けられない」と答えた人は 6.5%

「支援の必要はない」と答えた人は 9.0% でした

※ 「誰の支援を受けられる?」の質問には

「同居の家族」と答えた人 92人

「近所の人」と答えた人 49人

「市の災害時要援護者リストに登録済み」と答えた人 48人

「別居の家族」と答えた人 38人 でした

第二部 歯と健康の体験学習会

新潟大学大学院医歯学総合研究科葭原准教授のお話とファシリテーター4人(金子、小黒、荒井、岡田)の先生方と共に、ワークショップ形式の意見交換を行いました。



コメント

- ① ワークショップ形式の話し合いは初めてだったが、結構うまく話し合いが出来た上、ファシリテーターがうまく話を引き出してくれた。
- ② 皆それぞれに意見が別れてもうまく纏めてまとめて下さるので、感心しました。
- ③ 歯についてもっと具体的な話が聞きたかった。
- ④ 参加者が少なかったのは残念でしたが、ワークショップ形式の話し合いなので、丁度よい人数だった。又様々な意見、話し合い結果を少しずつでも生かすことができ具体的な方向が示されたら良いと思います。
- ⑤ 皆、歯について興味を持っている事がわかりました。もっと気をつけて歯磨きをし、検診を受けたいと思います。



長嶺地区の高齢化率は「8年前に比べると増加!!」

	12年度	20年度
65歳以上人口の割合	22.7%	30.5%
75歳以上人口	10.3%	15.6%



平成12・13年度にも同じ内容の調査を75歳以上の人333人に行っています。

8年前に比べると…「健康である」と思う人の割合や日常生活での自立度は大きな変化がありませんでした

たとえば

	12年度 %	20年度 %
健康だと思う	55.1	49.3
日用品の買い物ができる	70.1	75.6
食事の用意ができる	67.7	68.2
掃除・洗濯ができる	72.4	72.6
お金の管理ができる	88.2	85.0
家族・友人から相談を受ける	66.2	54.7
趣味・楽しみ・好きなことがある	62.2	61.2